

## ミニ夢会議の開催

地域ビジョン委員等が所属する団体・グループで集まり、神戸地域ビジョンや県民行動プログラム実践活動の普及啓発を行いました。

開催日	対象団体名	場 所	参加者数
14.4.8	神戸市シルバーカレッジ社会還元センターグループ“わ” 兵庫パンジーの会	荒田地区福祉センター	25
6.1	六甲山のアジサイを育てる会	六甲山自然保護センター	30
6.22	神戸市青少年問題協議会玉津第一支部	玉津第一小学校	50
6.26	兵庫余暇会	神戸生活創造センター	30
7.27	兵庫県自然観察指導員連絡会六甲山自然観察会	六甲山自然保護センター	40
8.4	国際教育文化交流協会	神戸生活創造センター	23
8.6	岡本商店街・甲南本通商店街等商店街グループ	甲南本通商店街	18
9.11	葺合市場商店街等商店街グループ	大安亭商店街	15
9.24	国際教育文化交流協会	ひょうご国際プラザ	50
10.2	神戸市シルバーカレッジ社会還元センターグループ“わ” 西地区委員会	西神第2団地集会所	10
10.5	学園シニアクラブ	学園東町地域福祉センター	40
10.7	長田神社前商店街等商店街グループ	長田神社前商店街	25
10.20	榎野台6丁目建築協定委員会	榎野台地域福祉センター	10
10.26	西神中央自治連合協議会幹事会	狩場台地域福祉センター	40
11.12	新長田商店街等商店街グループ	本町筋商店街	25
11.16	いきいきネットワーク第四班	東灘区民センター	20
11.20	茶コン倶楽部	神戸総合庁舎	10
15.2.6	コープこうべ「シニア・ライフ」	コープこうべ生活文化センター	25
2.26	西平野自治会	西平野自治会館	20

## ミニ夢会議で出された主な意見

- ・すでにある自治会、婦人会などのコミュニティーは、神戸市行政も共につくってきた。新たなコミュニティーづくりで、県がどの程度手綱をとるのかははっきりさせてほしい。
- ・震災後盛り上がったボランティアだが、燃え上がった時期は過ぎた。若い人たちに浸透するよう、地に足をつけて新しく動かなければならない。
- ・ネットワークの運営費や必要経費を行政が丸抱えにしてしまうと、活動が縛られてしまうのではないか。自分たちで費用を負担し、手作りで運営しなければ。
- ・コンピューターネットワークを利用した提言をどんどんしていきたいので、ここに打てばここに行くんだなという伝導性がほしい。
- ・熊本県では細川知事の時に立派なビジョンを作っていたが、次の知事になると下火になってしまった。トップの人が変わるとビジョンも変わってしまうのか。
- ・自治体からお墨付きをもらわないでも、みんながいろいろな活動ができるという状況をつくることによって、自治会の活性化につながる。
- ・NPO、自治会などがテーマをもって地域で活動するとき、それらをきっちりと連携してやっていくことがこれからの地域社会をつくっていく際にキーポイントになる。
- ・老人介護のコミュニティービジネスをしているが、独居老人の状況など民生委員にたずねてもなかなか教えてもらえない。もっと情報のやりとりができれば。
- ・ビジョンという言葉の意味がもうひとつわかりにくい。
- ・「いきいき仕事塾」など、県が主催している研修などの事業や今回のように出前して輪を広げようとするのはありがたいことだと思う。
- ・(プログラムについて)もう少しやわらかい表現で、カタカナ言葉をもっと説明してほしい。
- ・ビジョン、夢ということなので、ふわっとした枠をつくって、中身を詰めていく、豊富にしていくと考えたらいいのではないか。
- ・「農都・神戸」というのは具体的だ。私も地域で朝市などができたらいいと思う。50円均一で新鮮なものが手にはいるようなものを是非やりたい。
- ・自治会、婦人会、ボランティアグループなど、さまざまな地域の情報を集約するのが難しい。円卓会議を実現させたいがまだそこまで至っていない。



・神戸に住む者が神戸市の紹介をしようと思っても、点としていい所はあるがそれを線でつなぐのが難しい。よそのNPOの意見など取り入れてモデルコースのような形でつなげることができないか。